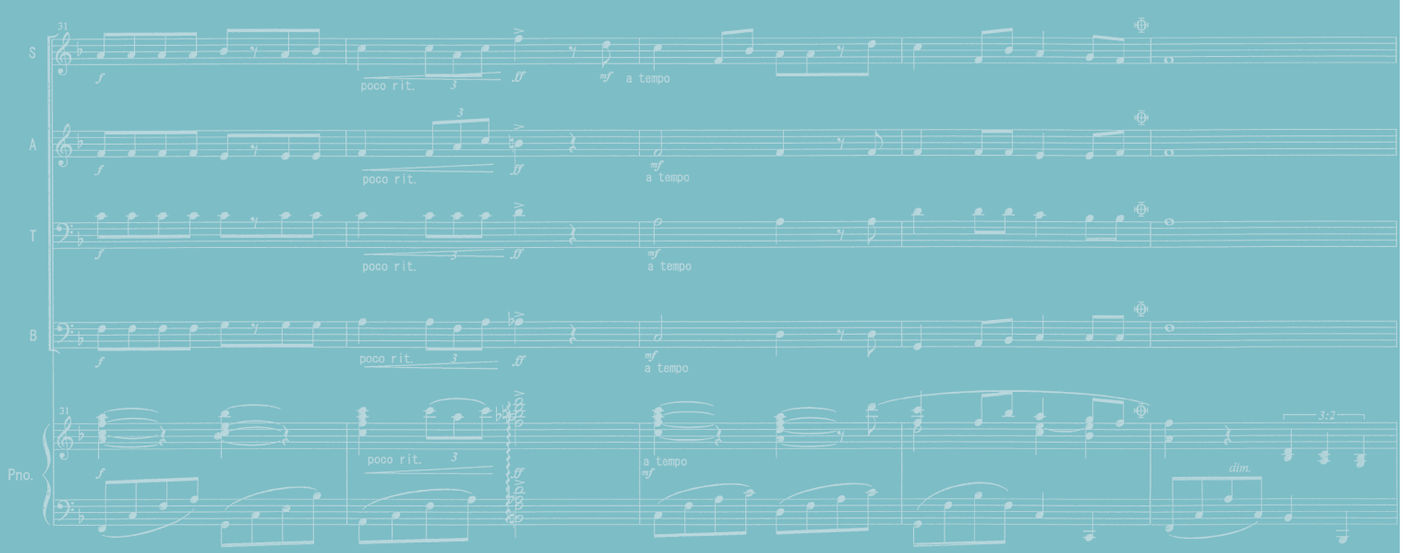
音楽療法学科
・通学コース
・通信コース
音・楽トレーナー養成講座
ステップアップ講座

Music Therapy

International College of Music Therapy



国際音楽療法専門学院
日本音楽療法学会 音楽療法士(補) 受験資格認定校

音楽をこよなく愛し
人と関わることが大好きなあなたへ

音楽療法の方法

音楽療法は、音と音楽がもつ様々な要素を意図的に用いながら、対象児・者が本来持っている「生きる力」を高めるために身体、精神、社会性、情緒などの各機能面にはたらきかけるもので、その方法（技法）は目的に応じて異なります。例えば、リハビリテーション領域の音楽療法。片麻痺の対象者Aさんに手指を動かす機能訓練を目的とした音楽療法を提供する場合、楽器を提示する方向を考慮したり、音楽に合わせて楽器の音を出すことが機能訓練になるように工夫します。また、動きの激しい自閉症スペクトラムの児童Bくんへの、穏やかな動きの経験を目的とした音楽療法では、使用する音楽のテンポを徐々に変化させながらはたらきかけます。このように、音楽療法には、楽器を操作することを通して、対象児・者と音や音楽を通して目的をもって関わることが求められるのです。

音楽療法士は、人に輝きと喜びをもたらす「音楽の魔法使い」

高齢者施設で、認知症の方が歌うことで表情にかがやきを取り戻す瞬間を経験した時、知的障害をもつ児童が楽器活動の中で達成感に満ちた微笑みを返してくれた時、音楽療法士は共によろこびに包まれる瞬間を感じることができます。

何を「学ぶ」のか

その「よろこび」を共有するために、私たちは多くのことを学ぶ必要性があります。「障害」とは何か？「療法」とは何か？そもそも、人が健康に生きるとはどういう状態なのか？について理解を深めること。音楽に対する知識や人と関わる「援助者」としての心構え、姿勢（態度）について実習を通して体験的に学ぶことも大切です。そして「療法士」をめざす自分自身について知ることも。

対象児・者が変化するためには自分自身も変化することが求められるからです。

本学院の教育理念は、

知的探求心をもち、柔軟性と創造性を身に付けた音楽療法士の養成です。

授業を通して知識や理解を深めながら、仲間同士が互いに励まし合い高め合うことを理想としています。

それぞれの個性と音楽的な表現力を活かしながら響き合い、豊かなハーモニーを奏でる場となることを願っています。

さあ、皆さん！学院の扉をたたき、ともに学びましょう！

学部長　吉村 奈保子

日本音楽療法学会評議員
東京音楽療法協会理事
日本音楽療法学会認定音楽療法士

音楽療法学部

音楽療法士の資格取得を目指す

音楽療法学科

専門的・総合的・体系的に理論と実技を習得し、音楽療法士をめざす

- 通学コース　最短で２年間
- 通信コース　最短で３年間

→ 学院認定　音楽療法士
日本音楽療法学会音楽療法士（補）受験資格

※音楽療法士（補）合格後、日本音楽療法学会認定 音楽療法士申請

音・楽（おとらく）トレーナー養成講座

半年間で音・楽（おとらく）トレーニングのプログラムを学びトレーナーを目指すコース

音・楽（おとらく）トレーニングとは？　本学講師とスタッフが考案した、音楽と楽器を使った介護予防プログラムです。

音・楽（おとらく）トレーニングを活用できるトレーナを目指しましょう。

ステップアップ講座

資格にこだわらずスキル向上を目指す

現場実践を積まれている方が実践スキル向上を目指すコース

- A ライセンスコース
- B スキルアップコース
- C トレーニングコース

充実したカリキュラムを支える、卓越した講師陣

100人のセラピストがいれば、100通りの方法がある。
共に学ぼう

顧問　松井 紀和

日本音楽療法学会元副理事長、医学博士
日本臨床心理研究所所長
北海道大学医学部卒

精神医学、集団力動 他

近年、音楽療法の必要性が様々な現場で取り上げられるようになってきました。また、音楽療法士を目指す人々もどんどん増えていく傾向にあります。音楽療法は、「人間の心身の機能、心理、生き様」などの多方面に関与する特性を持っています。よってその手法も『100 人のセラピストがいれば、100 通りの方法がある』と言われるのが音楽療法です。世の人々あるいは、社会機構の中の音楽療法士としての位置付けを獲得する為には、いかに「役に立てる事例を積み重ねるか」にかかわっています。

その為に、現在、周辺の医療職、福祉職の方々の協力、理解をより深める為に、多くの事例研究が積み重ねられています。この積み重ねこそが、社会的評価の根幹をなすものと考えています。国際音楽療法専門学院では、すでに 500 名以上に渡る卒業生を輩出し、その多くが現場で音楽療法士として活躍しながら、事例研究を数多く報告しております。彼等の今後に期待すると同時に音楽療法学にも寄与できることを祈念しております。

感性と科学する心をもって

講師代表　貫 行子　　音楽心理学、音楽療法概論、卒業論文指導

東京芸術大学音楽部楽理科卒。上野学園大学客員教授。日本音楽療法学会評議員。日本音楽心理学音楽療法懇話会会長。

1996 年の本学創立以来、私は音楽療法、音楽心理学、卒業論文の教育に携わってきました。現在、学会発表や認定合格できる卒業生が多数いることを誇りに思っています。

日本における音楽療法は、乳幼児から超高齢者までを対象に需要が高まり、学問的にも充実して、2017 年には世界音楽療法連盟・第 15 回世界大会が筑波市で開催されるほどになっています。音楽療法士の国家資格化をめざして、学会の役員である私どもは、音楽療法効果の科学的な根拠を証明すること、人間愛に満ちた実践の質を向上させること、そして真の音楽療法士を育成するために、日夜尽力しております。

あなたも、少子高齢社会に役立ち、優秀な音楽療法士をめざしてみませんか。

言葉に個性を与える『声』を探求する

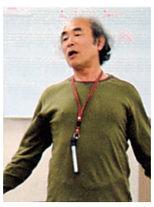
ボイストレーニング・声の仕組み・発声の仕方・歌い方・話し方などを声楽、合唱を通して学習します。音楽療法に大切な声を使ったテクニックが身につきます。中島先生は芸能界でも有名なボイストレーナーです。

中島 健司　講師

声楽、合唱、鍵盤和声学

国立音楽大学卒。東京音楽学院講師。ボイストレーナー

リズムの生まれ方を知ろう 心の奥を表現しよう



パーカッショニストとして世界的に有名な有賀先生。我国の打楽器発展の先駆をなす有賀先生の「即興」の授業は躍動的です。普段何気なく無意識に行っている動作を意識的にとらえ直すことからリズムの本質に目を向けようというのが、先生の授業の目的です。

有賀 誠門　講師

即興演奏

東京芸術大学、ニューイングランド音楽院卒。73 年、77 年芸術祭優秀賞受賞。東京芸術大学名誉教授。

音楽を分析し自分の曲を創作する

クラシック、ロック、ポップス、童謡など様々なスタイルの音楽。それぞれに特有の和音のつながりやメロディーの使い方を分析し、実際に作曲してみます。最終目標は自分の作品を自ら編曲してアンサンブルすること。音楽の本質を学びながら My number ができる、素敵な授業です。

天池 穂高　講師

作曲法Ⅰ・Ⅱ、編曲法、和声学

東京芸術大学大学院卒。作曲家。

音楽を科学的に裏付けられた音楽療法にまで高めたものを提供しようとするのが本学院の目標です

本学院は開校以来「現場に強い音楽療法士」を育成することをモットーとしており、卒業生が「即戦力」として活躍できる所以でもあります。

特長となる柱は３つあります。一つ目は、多様な実習現場と経験豊かな講師からの指導。二つ目は、多領域にわたり活躍するスペシャリストの講義を受講できること。三つ目は、「海外研修」への積極的な取り組みがあります。また、新たな取り組みとして、「音(おとらく)・楽トレーニング」という介護予防に向けた開発プログラム、幼児のための教育サポートなどの分野にも卒後の活躍の場を広げております。卒業生が培ってきた知識と経験を活かす場と音楽療法を求める現場をつなげ、提携先の開拓に邁進していきたいと考えております。音楽療法士を目指す多くの方の入学をお待ちしております。

学院長　菅野　博文

音楽療法学部

音楽療法学科

■日本音楽療法学会音楽療法士(補)受験資格に対応
■入学資格　高卒以上、音大卒・音短大卒は２年次に編入
■中部学院大学にて一部併修

通 学 コ ー ス

■音楽療法士資格認定獲得の最短コース
■多彩な講師による直接指導
■卒業まで５００時間以上の実習体験

通学コースのメリットは、講師による直接指導を受けられること、共に学び悩みそして成長していく仲間がいることです。大きな特徴は、「実践に強い音楽療法士の育成」。カリキュラムだけでなく、実習指導講師による実習や演習などがバランスよく組まれているところが、卒業後すぐに即戦力となって活躍できる基礎作りともいえます。

・音大卒業者はもちろん、高校卒あるいは一般大学 卒
基礎課程(音楽療法の基礎知識と演奏 技
卒業者は２年次の専門課程に編入が で

・カリキュラムの豊富さと講師陣の層の厚さ！！
児童、高齢者、精神科領域の音楽療法 理
にわたる科目を専門家から学べます。

・実習時間に力を注いでいます！！！
担当講師が一人ひとりにきめ細かい 指
技法を学ぶことができます。最終学年 で
じっくりと学ぶ機会でもあります。

■カリキュラム構図[ガイドライン１

「ガイドライン11」とは、日本音楽療法学会が定めている、カリキュラムガイドラインの事である。日本
できる認定校であるためには、このガイドライン１１に準じた講義内容(カリキュラム)でなくては な

音楽療法分野

音楽療法概論	集団音楽療法自己体験トレーニング
音楽療法基礎Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ	集団力動
児童音楽療法Ⅰ･Ⅲ	即興演奏
精神科音楽療法Ⅰ	臨床実習
高齢者音楽療法	カウンセリング論
歌唱伴奏法Ⅰ･Ⅱ	インターンシップ
作曲法Ⅰ･Ⅱ	論文指導・論文作成
	計 20 科目

総合 科

音楽療法基礎Ⅲ
児童音楽療法Ⅱ
精神科音楽療法Ⅱ
介護予防音楽療法
音楽療法Ⅳ(統計･特論)
感覚統合概論
音響言語聴覚概論
藝術療法概説

医学・心理学分野

医学概論　作業療法概論　心理学　精神医学
老年医学　理学療法概論　臨床心理学　計７科目

福祉・教育分野

発達心理学Ⅰ･Ⅱ　障害者の心理　介護概論　社会福祉概論　計５科目

臨床実習

近隣の医療･福祉施設と提携した豊富な臨床実習

本学の実習は、PDCA サイクル〈Plan:計画、Do:実行、Check:状況の把握、Action:調整、改善〉を繰り返すことにより、各自が持っている能力を最大限に活かすことができます。施設や学校、多くのお子様達のご協力のもと実習に取り組んでおります。信頼と実績で培ってきた関わりにより、地域からの音楽活動の依頼も多く豊富な経験を積むことができます。

豊富な現場実習

児童・高齢者・精神科・成人領域において臨床実習を行います。
実習は毎回、準備練習→本番→フィードバックを必ず行い、実習記録も残します。

準備練習
今日は身体障害者ケアセンターでの実習。教室の片隅で準備に余念がありません。

現地到着
さあ、施設に到着。先生はまだきていない。緊張に笑顔もこわばってる？

実習本番
車イスの方のリクエストで「ふるさと」を一緒に合唱。とにかく無我夢中。

終了 学校へ
我を忘れて歌い、演奏し語りあった１時間。終わって充実の笑顔。これから学校に戻りフィードバック。

通学 または 通信で
確かな理論と高度な技術を学ぶ

通 信 コ ー ス

学 卒業者も入学可能！
奏 技術の習得)を経て専門課程に進みます。音楽大学
が できます。

！
去 理論や即興演奏、伝統芸能、医療福祉分野など多岐
。

い 指導を行い、多くの実習を通して理論と結びついた
年 で経験するインターンシップで希望する研究領域を

■臨場感ある通学コースの授業を オンライン配信にて在宅学習

■スクーリングで実習とリーダー体験

在宅学習を中心に、年３回のスクーリング (対面授業) にて知識と経験を養い、卒業をめざします。密度の濃い授業、実習の場は同じ夢をもつ仲間との熱い交流の場ともなります。また、在宅での学習はオンライン配信にて学べることができ、インターネット環境があれば、いつでも自分のペースで学習できます。

在宅
オンライン配信にて学習
通学コース生が受ける授業をオンラインで学習。働いている方も、地方の方も自分のペースで学習できます。

各科目の終了時
レポート提出
出席のかわりにきちんとレポートを提出。学習の成果を発揮しましょう！

年３回のスクーリングにて
実習とリーダー体験
普段は一人で学習している通信生たち。同じ志、同じ環境のもと、年に３回あるスクーリングで盛り上がります。悩み相談、学習相談、そして学友との出会い！

音楽療法士の資格を取得できます

ン 11に準拠したカリキュラム]

る。日本音楽療法学会認定の音楽療法士(補)を受験
は ならない。

合 科目
器楽 II
生理心理学
ターミナルケア論
アセスメントと評価
ワークショップ I･II
音楽療法応用と実践
事例検討方法論
計 17 科目

音楽分野

音楽理論	音楽心理学
音楽通論	音楽教育学
和声学	ピアノ
鍵盤和声	器楽 I･III
編曲法	合奏
指揮法	ソルフェージュ
日本音楽史	声楽
日本歌謡史	合唱
応用民族音楽学	

計 18 科目

語学分野
英語 I･II　英語III (英文原著講読)　計３科目

目

論文発表　自立した音楽療法士としての観察力、問題解決力を培う

卒業前に学生一人一人がテーマを決めて卒業論文を作成します。本学の特徴は、ただ論文を執筆・提出するだけでなく、全員が一堂に会して論文発表会を開催し、学友や講師の前で自分の研究成果を発表することです。このスーパービジョンは、一人一人の発表に対して、講師の先生方から厳しい指導と講評がなされ、議論が繰り広げられます。自立した音楽療法士としての観察力・問題解決力を培うことを目的とした論文発表の体験は、医療、福祉、教育などの現場に出ていく皆さんにとって大きな財産になることでしょう。

海外研修　対象通学生は参加必須 在学生は、学生料金にて参加可能

本学では、音楽療法士としてのさらなる技術の向上をめざして、毎年１週間程度の海外研修を実施しています。英会話の講義、ワークショップ、施設見学など実施します。

専門分野でのノウハウを深めるだけではなく、**“音楽は心と心をつなぐ世界の言葉”**を実感し、参加者全員が新たな出会いと感動を体験する場となっています。

春・秋開講　受講期間：６ヶ月

音・楽トレーナー養成講座

通信教材と２ヶ月に１回のスクーリングにより、音楽トレーニングプログラムを学び、現場で活用していきましょう。

音楽トレーニングとは？

本学講師である日本音楽療法学会認定音楽療法士と理学療法士、健康運動指導士が連携して開発した介護予防プログラムです。音楽に合わせて「**楽器を演奏する**」かつ音楽に合わせて「**身体を動かす**」という２つの機能の連携によるバランス機能の活性化と認知予防を目指しています。

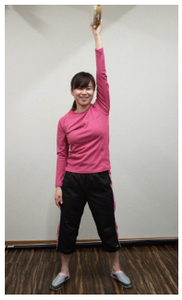
地域における健康運動推進事業が行政によって盛んに推進されている中、定期的な運動や身体活動は心身の健康増進に効果があることは、これまでも実証されています。「いつまでも健康に生きたい」、「年齢を重ねても自立した生活を過ごしたい」というニーズに応えていくためにも、養成講座を通して学びを深めていきましょう。

音楽療法基礎講座	音楽の使い方	高齢者の特性と疾患	健康運動指導士による動きの指導	音楽トレーニング紹介	活動紹介	試験修了
DVD	スクーリング	DVD	スクーリング		DVD	

６ヶ月間

音・楽トレーニングで無理なくリハビリテーション！

音・楽トレーナー養成講座は介護予防・地域ボランティアに興味のある方や、医療・福祉従事者の方を対象に、本トレーニングの基本コンセプトが活用できるトレーナーを養成します。



DVD 教材による学習と、川越でのスクーリング３回で履修

DVD	音・楽トレーナーのための音楽基礎講座	高齢者の特性と疾患 高齢者のトレーニング	音・楽トレーナー基礎講座 活動紹介
スクーリング	音楽の使い方 楽曲、楽器の知識と理解	健康運動指導士による動きの指導 認知予防を目的とした音楽身体活動 音・楽トレーニング紹介	音・楽トレーナー資格認定試験

ステップアップ講座

現場実践を積まれている方の実践スキル向上や、日本音楽療法学会認定音楽療法士 資格取得を目指すコースです。

日程・詳細は、別紙「ステップ・アップ講座のご案内」参照

A ライセンスコース
学会認定音楽療法士資格取得を目指すコースです。事例レポート相談を中心に、申請手続きや小論文の書き方・実技演習・模擬面接の講座を通して試験対策を行います。

B スキルアップコース
実践現場の直接相談や活動のネタを紹介！現場でのスキルアップを望んでいる方におすすめです。(地方指導含む)

C トレーニングコース
症例報告を書くためのポイント指導や求められるニーズに応えるべく臨床スキルを高めていくコースです。

現場経験を積まれている皆様からの要望をもとに、実践的な指導を中心とした講座です。B・C コースは既に臨床経験を積んでいる方が対象です。受講の日程や時間帯の選択が可能な講座です。講座内容の詳細と申込方法は「ステップアップ講座のご案内」をご覧下さい。

卒業生からのメッセージ

音楽療法学科 通学コース卒業生
学会認定音楽療法士 **大西 愛**

卒業間もない新米療法士ですが、現在はリトミック教室でのアシスタントや保育園でのピアノ伴奏、そして音楽療法士として病院などで活動をしています。学生時代は不安な事、大変な事も沢山ありましたが、それ以上に歓び、感動の多い夢のような時間でした。今がとても幸せなのは、そんな学生時代があったから♪次の目標は地元での音楽療法！頑張ります！

音楽療法学科 通信コース卒業生
学会認定音楽療法士 **廣田 かおる**

卒年次に認定音楽療法士の試験に合格！今は高齢者を対象とした音楽療法を施設でおこなっております。通信コース在学中、普段は、すべて一人で勉強、孤独ですし不安もありましたが、スクーリングで会う同期とともに学び、お互いの悩みを話し合った仲間の存在がとてもよかったです。学院の先生も親身になって相談に乗ってくださいました。3 年あるいは 4 年間勉強を続けていくのは大変ですが、音楽療法を通して沢山の人々と巡り合い、学ぶことで世界が広がりました。また音楽の力で自分自身何度も励まされました。仲間が増えることを願っています。

音楽療法学科 通信コース卒業生
特別支援学校教員 , 学会認定音楽療法士 **五十嵐 亜希子**

障害のある子供たちと接する仕事の中で、音楽の効果に気づき、もっと勉強したいと思い入学しました。以前はなんとなく使用していた音楽の意味を考えるようになり、選曲にも時間をかけるようになりました。また、自分でも音楽をすることがさらに楽しい時間になりました♪すぐ実践につなげられる技術を教えてくれたのがこの学院でした。仕事をしながら、子育てもしながら実習時間をみつけることは、難しかったですが、そのぶん自分に返ってくるものは大きいです！！（ぜひ、がんばって下さい♪）

音楽療法学科 通学コース卒業生
学会認定音楽療法士，Music Space 奏など **大野 智子**

音楽療法士として提携先の日本教育支援ネットワークなどで活動を行っています。入学するまでは、音楽療法にとても興味があったものの、まだ、未知の世界でした。在学中は様々な場所での実習経験を積み、一日一日が貴重な時間となりました。種類豊富な講義の数々、大学で学んだこととは異なり、新鮮なものばかりでした。ここでしか出会えない先生方や友達は、私を成長させてくれました。多くのことを学びましたが、毎日通う中で「自分」というものを見つけ、見直すことができました。これからもこの学院で得たことを大切に、頑張っていこうと思います

alumni association OB・OG研究会

国際音楽療法専門学院の卒業生による研究会です。卒業後も日々変化・進化する医療、施設、音楽療法の知識などを得、また交換する為に発足しました。通信生の方々の相談に乗ったり、活動の交換会などをしたりしています。事例研究会を主体に懇親会・総会も行われています。

国際音楽療法専門学院 同窓会会長
学会認定音楽療法士 **関　郁史**

対象者や社会のニーズに合わせて

音楽療法士が求められる事は何か？と考えた時、まず始めに思いつく事は①「対象者を理解する事」②「対象者に合わせた音楽を提供する事」③「他者を感じ臨機応変に対応する能力」そして「自分自身と向き合う事」だと思います。2012 年 4 月の介護保険制度の改定により、ますます保険点数の取れない音楽療法士の立場は危ういものとなってきています。しかし、別の言い方をすれば「本物の音楽療法士が求められる時代」がやってきたとも言えます。決して楽な道ではないと思います。しかし、だからこそ遣り甲斐のある仕事だとも言えるのではないでしょうか？音楽技術の向上のみならず福祉・医療・社会資源に至る幅広い分野の知識を身につけると共に、対象者や社会のニーズに合わせて、私たちと共に職業人としての音楽療法士を目指していきませんか？

国際音楽療法専門学院

日本音楽療法学会 音楽療法士(補) 受験資格認定校

〒350−0033 埼玉県川越市富士見町11−25 http://www.ongaku-ryohou.co.jp
tel. 049−226−3811 / fax. 049−226−9011 Email: info@ongaku-ryohou.co.jp